



生活者ネットワーク

区議会ニュース

2023年 第三回定例会(9月8日～10月13日) 報告号



2022年度決算に反対!!

2022年度予算編成にあたり区長は、区民とともにコロナ禍を乗り越えることを掲げ「施策の優先順位を見極め、不要不急の歳出を削減し、限りある財源を効果的・効率的に活用していかなければならない」と述べていました。はたして、優先順位を見極め、不要不急の歳出を削減した決算だったでしょうか。

あらゆる物価の高騰が暮らしを圧迫

2021年以降、コロナ禍による物流の混乱や経済活動の再開による需要の回復などから、エネルギー価格や穀物などの原材料価格が上がり始めましたが、ロシアによるウクライナ侵攻をきっかけに、さらに上昇。より円安が進んだことで輸入コストも増加し、あらゆる物価が高騰しました。

食費を切り詰めるためにフードバンクや子ども食堂など、ボランティア団体の支援を頼りにしている人々がまったく減っていない状況です。

自治体が優先すべき施策とは

経済的困窮だけではなく、教育やこども施策、高齢・障害児者の福祉サービスの充実など、困窮する区民に真摯に向き合い、予算を配分し福祉向上を図るのが自治体の大きな役割だと考えます。

美術館の再整備に関して、区長が述べた「福祉医療か、文化か、二者択一を迫ること自体が間違い。

両方とも必要」という考えには賛同します。しかし、いま、改築を推し進める時なのでしょうか。建築費高騰が続く中、改築に係る費用として示された約80億円では納まらないことが懸念されます。

区民とともにと言いながら、区長の考える区民は、区の計画に賛成する区民であり、区の計画に疑問や反対の声を上げる区民の声に耳を傾けず、置き去りにしていく姿勢は問題です。住民合意のない再開発や公園整備、道路計画も然ります。

困っている人を放っておかない区政へ

国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療会計は、上がり続ける保険料や負担割合の増加が、低所得者や若者、年金生活の高齢者の生活を圧迫しています。税金の投入割合を増やすなど抜本的な改革を国に求めるべきです。

住民に身近な自治体は、困っている区民にこそ真摯に向き合い、より丁寧に対応するよう求めています。

2023年度3回目の補正予算が編成されました

「物価上昇の影響を緩和するための緊急的な対応」「新型コロナウイルス感染症対策の継続・拡充」「区内中小企業への支援」などに取り組む補正予算額は、53億7944万円。生活者ネットは、都民採択事業として予算化された約5千万円の「TOKYOシニア食堂推進事業」を獲得し、食を通じた介護予防プログラムを拡充するよう求めました。



ホンのすこ~し進んだ!? 議会改革



区民から出たすべての「陳情や請願を今期より 年に一度は審査することになりました!」

※陳情とは、区民の要望を区政に反映させる方法の一つです。



え? それって当たり前のことじゃないの? と思いますよね。でも、実は、これまで区民から出された陳情・請願書は、1期4年の期間中100件以上も審査されずに審議未了、廃案となり、いわゆる「塩漬け」にされていました。まず、その事実にショック!

しかし、今期から提出された陳情は原則として、委員の任期中(1年)のうちに審査することになりました。9月議会で審査された陳情は、20件! 今までと大きく違います。

陳情審査にあたり、陳情者の想いを考え、いろいろと調べ、質疑をし、採択・不採択を決定します。今回、

山崎所属の企画総務委員会では、5件の陳情を審査しました。その中でも「日本政府に対して、核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書の提出について」という2件の陳情については、生活者ネットは採択すべきと考え、委員会にて採決を求めましたが、結果は「不採択」となりました。

採択とした会派／共産党・生活ネット

不採択とした会派／自民党・公明党・練馬会議・立憲民主・参政党

採決した議案や陳情については、最終日の本会議で討論し、賛否を明確に示すことができます。



「日本政府に対して、核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」等の陳情の願意に賛成の討論<抜粋>

核兵器を持つべきと考える人たちも、本当は「戦争がない、武器も必要ない、平和な世界」が一番だと思っているのではないかでしょうか。私たちはそこをめざすべきです。

お互いに武器を持ち、威嚇し合い、監視し、監視される社会を「平和」といえるでしょうか。そのような、いつ崩れるか危うい世界を私たちは「平和」とは考えていません。武器のない平和をめざさずして、何のために政治があるのでしょうか。

岸田首相は2027年度までに防衛費を約43兆円に引き上げることを示しました。防衛力の強化と抑止力の向上を目的として、ミサイルや弾薬を増やすこと、台湾有事を理由に南西諸島への部隊新設のための費用です。そのために、増税や国債の発行による国民の負担、社会保障費や福祉費などが削減されるのではないかと多くの区民が不安を抱いています。

一度はじまってしまうと、終わりにできないのが今の戦争です。終わりにしたくても、だれも終わらすことができず、続いていきます。そして、そんな戦争で犠牲

を強いられるのはいつも弱者である市民であり、利益を得るのは軍事産業とそことつながっている団体だけです。

今、私たちがすべきことは「対話による平和外交」を推し進めていくことです。

悲惨な戦争と核の恐ろしさ、この世の終わりのような、どん底を身をもって体験してきた方たちの「二度と戦争はおこしてはいけない」という訴えを受け継ぎ、子どもたちと世界に全力をもって伝えていくのが唯一の被爆国である日本の役割ではないでしょうか。

国は「核は抑止力」と言いますが、核を持つことは戦争をなくす道には続いておらず、平和へのプロセスになりえません。



練馬区には「非核都市練馬区宣言」があります。この宣言をもちながらこの陳情に対し、不採択にすることは理解できません。むしろ、この宣言や、もとになった平和憲法の想いを世界に広げていくべきです。

●infomation●

- オンライン区政報告会: 2023年10月23日(月)20~21時 参加の方は net-gikai@jcom.home.ne.jpまでご連絡ください。締切は10月23日13時まで
- 第四回定例区議会: 2023年11月30日(木)~12月15日(金) 一般質問 やない克子(予定)

